

8. キャンパスマスタープランの計画プロセス

8-1 策定のプロセス

キャンパスマスタープランの策定に当たっては、大学構成員の共通理解のもとに策定されて行く必要があり、さらに継続性が重要であることから、総長室である施設・環境計画室で企画・立案した。

その企画・立案に当たっては施設・環境計画室が中心となり、キャンパスマスタープランの策定に関わった経験者を中心に、関係総長室及び各部門別アクションプランの専門的分野から構成し、審議・提案するWGを組織した。

CMP 2006の策定時に広く大学構成員のパブリックコメントを収集して、キャンパスマスタープランを評価するプロセスを組み込んでいる。

8-2 実現に向けてのプロセス

キャンパスマスタープランを実現していくためには、キャンパスマスタープランの策定時に設置されたWGを活用して、計画、施設環境デザイン、構内交通、生態環境、歴史的建造物、埋蔵文化財、施設マネジメントにおける部門別アクションプランを検討して、それらの審議を基に、総長室である施設・環境計画室で具体的な実現プログラムを企画・立案する。

8-3 評価システム

キャンパスマスタープランは、役員会及び総長室である施設・環境計画室において評価する。

なお、キャンパスマスタープラン策定後、公表し、学内から広く意見を聴取するシステムを構築する。

8-4 キャンパスマスタープランへのフィードバック

キャンパスマスタープランは、大学内外の変化に対応して適切な見直しをするシステムを持つべきである。

そのために、キャンパスマスタープラン検討部会は、キャンパスマスタープランに記載された事項と現実との不具合が生じた際には、速やかにその事項の再検討に入り、マスタープランの修正を行う。